

進路指導部だより

道しるべ

天王みどり学園 進路指導部

第125号

平成28年3月9日発行



進んで社会参加できる児童生徒の育成



教頭 佐藤 博司



いよいよ本校でも明日卒業式を迎えます。高等部生にとっては、12年間という学校生活から社会生活への旅立ちとなります。一人一人にとって自分の人生に自信と誇りをもって過ごしてくれることを願っています。

私はよく某局の「プロフェッショナル～仕事の流儀～」という番組を観ています。様々な職種の中でプロと呼ばれている方々にスポットを当てた番組ですが、私の職業とは違っていても「あっ、このように考えればいいんだ。」と感心させられることがたくさんあります。その主題歌を歌っていたのが「スガ シカオ」です。決して大ファンではないのですが、主題歌を聴くだけで番組が想像されてきて、なぜかやる気がわいてきます。今年の番組の中で、「夢のゴール」という曲が流れていました。その歌詞を聴くと、卒業生への応援メッセージにも聞こえてきましたので、随分と省略してしまいましたが、紹介したいと思います。

『夢のゴール』

学校のグラウンドに沈む 夕陽に染まって
シューズが破れるくらい練習した 遠い夏のおい
ぼくの夢はずっとまっすぐだった
いつか世界の舞台に駆け上がるって

～中略～

きっとぼくらが生きる 最高のカタチは
誰かのための 自分になること
何もない毎日でも 君がいてくれることで
誰かにまたひとつ 笑顔が生まれるよ

ずっと握りしめてきた夢はまだ終わっていない
あきらめた日が ゴールじゃないから
世界中が熱狂する スーパープレイのかわりに
誰かを笑顔にする ファインプレイをするよ



いかがでしょうか、一人一人がかけがえのない人であることを教えてくれたように思います。卒業する皆さんにたくさんの笑顔が生まれてほしいと願っています。



『きらめき就職面接会』



2月12日（金）にホテルメトロポリタン秋田で開催された「きらめき就職面接会」を、一般就労を希望する高等部1年の生徒が見学しました。広い会場で多くの方々がスーツ姿で面接をされている様子やピリピリとした独特の空気に生徒たちも緊張感のある表情をみせていました。生徒たちは就労するまでのおおまかな流れを知っただけでなく、自分たちの住む地域にはどのような職種があるのかを具体的に知ることができ就労に対する意識がより一層高まったことと思います。（蒔野）



○平成27年度 高等部3年生 進路決定状況

高等部卒業生の3月9日現在の進路先状況をお伝えします。

<p>就職（一般就労）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・しまむら天王店 ・大晃商事 ・潟上天王つくし苑 ・デコ・ファーム ・ナイス追分店 ・特別養護老人ホームひなた ・温泉ショートステイ鶉の崎 ・ショートステイげんき
<p>障害福祉サービス利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクール ・こまどり ・げんきハウス下新城 ・スクラム ・希望園 ・玉の池ワークハウス ・潟上天王つくし苑 ・大潟つくし苑 ・ほのぼの ・ウェルビューいずみ ・障害福祉サービスセンター

新 施設情報

○平成29年4月より、久幸会（今村病院）で生活介護事業を開始する予定です。定員は30名（医療的ケア含む）です。

○南秋つくし苑に、看護師が配置（週5日勤務）されました。

○杉の木園が、新屋船場町に新施設を開設する予定です。定員は20名（就労継続支援B型、生活介護）です。

コラム 道するべ⑤ ～余暇の話～



前はドア to ドアの話でしたが、今回は余暇の話です。卒業後は、どんな進路先であれ、「働く」という活動があります。土日は、自分で好きなことをしたり、家族と楽しんだりすることを楽しみにしている卒業生もいます。

水泳を習っている人、インターネットを楽しんでいる人、お菓子作りをしている人など楽しみ方は様々です。ぜひ、在学中に存分に楽しめる活動を見つけてもらいたいです。

特別支援学校の課題となるのですが、卒業後に同級生と会う機会が少ないということが挙げられます。一人で趣味の時間をもつことも大切ですが、やっぱり友達と会ったり、話したりすることは、日々のストレス発散にはとても効果的です。このような余暇の過ごし方については、高等部の進路学習で勉強します。「働くこと」と「余暇の過ごし方」のどちらも生活をしていく上で重要となります。（小川）